

特集 愛飲者インタビュー

薬では治らない 抗酸菌症が SODで劇的に改善

北海道にお住まいの
溝口春香さん (63歳)

日本
SOD
研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B 棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協カ 株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

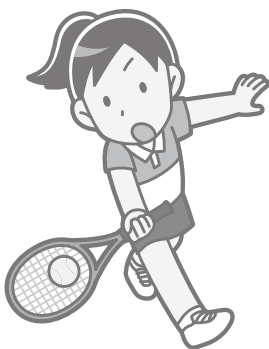
今回取材に応じてくださった溝口さんが生活する北海道のとある町は、道内でも比較的雪が少なく、夏の平均気温は22度と過ごしやすいところ
です。そのせいか、長期移住体験希望者がいちばん多い町
なのです。

「ここは花粉症もないですし、新鮮な魚介類、野菜、牧場直送の乳製品など食材も豊富。日本でいちばん過ごしやす
いところだと思いますよ」

そうおっしゃる春香さんは、生まれも育ちもこの町。22歳で職場結婚され、一男一女に恵まれました。小さい頃から活発だったとか。スポーツも大好きで、中学のときはテニ

ス部で全道大会(北海道大会で都大会や県大会のような大会)に出場したこともあるそうです。ですから、これまで大病という病気は経験したことがない健康体でした。
「そんな私がどうしてSODに出会ったのか不思議ですよ
ね」

と、ほがらかに笑う声からも明るく前向きな性格がにじみ出ていました。



「自然食品のお店でアルバイトをしたことがあり、お店には健康食品のサンプルや説明書、カタログなどがたくさんありました。アルバイトの傍ら、興味のあるものを探しては読んでいたんです。まあ、ありとあらゆる体にいいことを謳った資料が集まってくるんですね。その中でなぜか丹羽先生のお話が載っていたこの会報が目に入ったんです。たいていのチラシは商品の説明や、体調不良に効果的とか、改善がみられるといったようなものばかりでした。そんな中、丹羽先生のお話は、息子さんの死をきっかけに医師としてのあり方を見つめ直した

ことから始まっていました。そして、これまで絶対の治療薬だと思っていた抗がん剤の副作用で息子さんの地獄を見たというお話には涙が止まりませんでした。そこから副作用のない天然の生薬を開発された。それがSODだったと知り、志のようなものが他の健康食品とは違うなと思ったのを覚えています。ただ、当時の私はどこも悪くなかったし、知り合いや家族も元気でしたのでいつか何かあったら飲んでみたいなと思っていたのです」

お客さんでSODを飲んでいる方がいらして、その方が、SODは健康な今のうちから

飲んだほうがいいと言ってくれたそうです。しかし、「頭ではわかっていましたが、まだ元気でしたし、ややお値段がお高かったのもあり、何かあったらと頭の隅に置いておきました」

イボが増え続け、現実から目を背けたくなる毎日

そんな体験から十数年後のことでした。

「20年くらい前だったと思います。イボに悩まされたんです。

それも突然。心当たりはないし、何かにかぶれたのか、虫に刺されたのかと思っていた

んです。最初は耳の後ろあたりにイボのような赤い小さな点ができ始めたんです。かゆくて、掻いていたら、小さくて赤い点々がどんどん広がっていき、耳から頬、あごから首にまで広がりました。場所が場所ですから人前に出られなくなって、とにかく皮膚科に行っても、原因不明と言われる、とりあえずのステロイド処方。ステロイドでかゆみは一時的に治まるのですが、イボはいつこうに消えない。それどころかどんどん広がっていました。3件も皮膚科を回ったのですが、どこでもステロイドでダメなら効く薬はないと言われ、もう、絶望感しか

ありませんでした」

当時、春香さんは、外出するときはいつも帽子を深くかぶり、マスクで口元、スカーフで首元を隠す日々でした。

「どう見ても怪しい人ですね(笑)。でもあの頃は、このまま体中がイボだらけになるくらいならいつそのこと…と、思う毎日でした。そんなとき、3件目の皮膚科の先生が、ふと、薬ではどうにもならないけど、免疫力が上がれば良く

なるかもしれないなあ、と口にされたんです」

その一言でピンときたそうです。

SODを5〜10包で

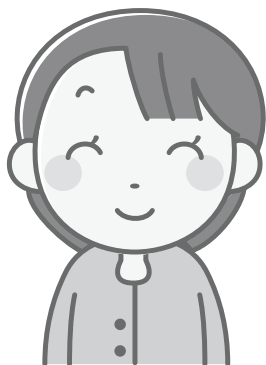
完治

「そうだ、丹羽先生の『SODは活性酸素を除去して免疫力を上げることができる』というのを思い出したんです。アトピー性皮膚炎にもいいと聞いてたので、もう迷わずすぐSODを購入して、その日から飲み始めました。最初は多めに飲んだと思います。そうしたらすごいんです。毎日少しずつ広がっていたイボが、

SODを飲んだ翌日に広がらなくなった。進行がストップしたんです」

これは間違いない、と確信した瞬間でした。

「その後は、どんどんイボがなくなり、たったの2週間で首のスカーフが取れ、マスクもしなくてよくなったんです。すごいですね、驚きと喜び、もう感謝でした」



以来、SODは春香さんの精神安定剤代わり。これを飲

んでいれば自分の身体に心配するようなことは起こらないと確信しているからでしょう。

以前、健康な時から病気にならないために飲んだほうがいいと勧められた意味がやっと分かったといえます。

数年後には目と腎臓がダメになるという抗酸菌症の薬を絶ってSODにシフト

以来、春香さんは健康そのものでしたが、当時60代後半だったお母さまに異変がありました。

「咳が2週間くらい続いて、熱っぽかったので風邪だと思

い、市販の風邪薬を飲んでい
たんですよ、でも、ちっとも
良くならない。病院に行っても
風邪だろうと言われ、家で静
養していたのですが、体がど
んどん衰弱していくので、大
きな病院で検査をしてもらっ
たら、抗酸菌症という聞いた
こともない病名を告げられた
んです。なんでも、結核の一
種だけど、人から人にはほと
んど感染しないと。痩せて免
疫力の弱い高齢者や、肺の病
気がある人、抗がん剤などを
飲んでいる人が罹りやすいそ
うなんです。結核は人にうつ
すけれど薬で治る。でも抗酸
菌症は人にうつらないけど薬
で治らないと言われました」

おそらくお母さまが罹られ
た病気は、非結核性抗酸菌症
(NTM症)※だと思われます。
「数回受診したのですが、医者
から、肺の影がどんどん大き
くなっているから、強い薬に
変えましょうと言われました。
担当された医師が、ちょっと
冷たい感じがかり、薬の説明
も、その薬を飲むと、数年後
には目が見えなくなり、腎臓
疾患にもなる可能性がありま
す。でも、これを飲み続ける
しかないと思います、と平然
とした顔で淡々と話されたん
です。そんな言い方しなくて
もとは思いましたね。おかげ
で母はパニックになって、泣
き出してしまい大変でした」



とにかくその場は強いお薬
をもらって帰ってきたそうで
す。目の前では絶望に打ちひ
しがれているお母さまの姿。
このとき春香さんはとある決
心をしました。

その日から毎日12包飲んでも
らいました。最初はパサパサ
して食べにくいとかなんとか
言っていた母でしたが、2、3
日すると体調が良くなってき
たんですよ。だるくて歩くこと
も嫌がっていたのに、今日は
だるくないとか言い始めたん
です。そのうち食欲も出てき
てガリガリだった体に肉もつ
き、顔色も良くなったんです。
なによりも母が目に見えて元
気になっていくのが嬉しかっ
たですね。これはSODの効
果が出ていると確信していま
した」

その確信が真実になったの
が、1か月後のことでした。
検診に訪れた病院で



「肺のCT検査と菌を調べる血液検査をしていただいたのですが、まず、肺の画像を見た先生が、何度も首をひねっているんです。調べた名前が間違っているんじゃないかと名前まで確認していたんです。そして言われたことが、影がすごく小さくなっているんです。それに血液検査から菌も検出されていないんです。何かしました？とびっくりされました。SODのことを言お

うかと思ったのですが、説明が難しいし、そんなもので治るはずがないと一笑されそうと言えなかったです」

以前、丹羽先生に、治らないはずの病気がSODで良くなった、数値が劇的に改善されたということで担当の医者が驚いたという愛飲者の体験談をお伝えしたことがあります。そして、病気が改善したのはSODや丹羽先生の功績なのに医者には伝えられないのは悔しいですよ、と言った

ら、にこにこ笑いながら丹羽先生は次のように言っていました。

「それはわしもよく耳にするなあ。SODで良くなったと言

われると本当に嬉しい。また、それで興味持ってくれて問い合わせしてくれる医者もいる。が、たいていはそんなこと偶然だと取り合わない。残念やね。医者はずっと謙虚にならないといかん」

を服用している人などが感染しやすいとか。あと、土や泥水に菌が生息することで、下水道などの仕事をしている人にも稀にみられるそうです。厄介なのが、結核のように治療法が確立されていないことだといいます。複数の薬物併用療法が1年以上と長期に渡る

とか。

インフルもコロナも

SODだけで後遺症も

皆無

※非結核性抗酸菌症(NTM症)厚生労働省の感染症ガイドラインによると、結核菌以外の抗酸菌によって引き起こされる感染症で、土壌、水、埃などに生息する抗酸菌が呼吸器や傷口から侵入することで感染するそうです。やはり高齢者や抗がん剤、免疫抑制剤

その後、お母さまは元気に過ごさしになり、数年前に85歳で穏やかに亡くなられたそうです。

「いろいろな病気をしてきたに
しては長寿というか、天寿を
全うしたと思います。丹羽先
生とSODには感謝してもし
きれません。母も私も、イン
フルエンザやコロナにも感染
しましたが、薬は一切飲まず、
SODを10〜12包飲んで乗り
切りました。3日くらいで治っ
たのですから有難いです。周囲

ことがなくて本当に良かった
です。これもひとえに春香さ
んの見識と判断力の賜物です。
そんな彼女のもとには多くの
友人が集まり、いろいろな趣味
にいそしんでいるとか。加え
て手元にはSODがある。こ
れ以上ない健康法ですね。春
香さんとお母さまの貴重なお
話、ありがとうございました。

「80歳の壁」などの著書でお



1か月くらい続いたという人
がたくさんいらしたのに、私
たちはSODのおかげで後遺
症もなくすつきり治りました。
子供たちにも何かあったら必
ず飲みなさいと渡してありま
す。我が家の常備薬ですから」

お母さまが薬で苦しまれる

BOOK
紹介

高齢者の安全な薬物療法 ガイドライン2025

日本老年医学会（編集）

なじみの心理学者で精神科医
の和田秀樹さんのことは以前、
ここで紹介したことがありま
す。その和田先生がおっしゃ
るには、高齢者の事故が盛ん
にマスコミで話題になってい
るけれど、その原因を追究し
ているマスコミは一つもない
と。原因のほとんどが、高齢

だからではなく、事故を起こ
した高齢者が、何らかの薬を
日常的に飲んでいて、その薬
が意識をもろうとさせる原
因になっているということだ
といえます。高血圧、高コレ
ステロール、中性脂肪の薬を
混合で毎日飲んでいれば必ず
何らかの副作用として貧血状
態だったり、眠気や意識が遠
くなるような成分が入ってい
るのだとか。高齢者が悪いの
ではなく、薬をのべつまくな
しに処方する病院や、それら
を疑いなく飲み続けているこ
とが悪いといえます。

今回紹介する本は、そんな
薬に関する専門書で、どちら
かというと医療関係者用です。



高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2025
日本老年医学会(編集)

しかし、自分が飲んでいる薬の本当のことを知りたければ、ぜひ、こちらを手に取ってみるのもいいかもしれません。難しい専門用語も多いので、よろしければこの本を持って主治医の先生に相談するのもいいかもしれません。

※本書の解説より抜粋

高齢患者ならではの 薬物療法の推奨法・ 注意点がわかる

高齢者では薬物有害事象の頻度が高く、重症例が多いことを背景として、高齢者薬物療法の安全性を高める目的で作成されたガイドラインの2025年版。

本ガイドラインの特徴であ

る「高齢者に対して特に慎重な投与を要する薬物のリスト」「開始を考慮すべき薬物のリスト」も大幅アップデート。遭遇頻度が高い疾患ごとにクリニカルエスチョンと薬物リストを提示し、診療での具体的な注意点を、最新エビデンスに基づいて詳細に解説。米国老年医学会によるBeers基準、欧州老年医学会によるSTOPP/STARTの内容も評価参考として用いている。日本老年医学会薬物療法小委員会編集のもと、薬物有害事象を起こさないために高齢患者特有の注意点をまとめた1冊。

本紙の利用に関するお願い

日本SOD研究会報は、株式会社丹羽メディカル研究所のみ利用許諾をしております。当研究会の許可なく、文章、画像の一部および全てについて、販促物利用、転載、複製、複写、転用、編集、ブログへの引用などの二次利用を固く禁じます。丹羽メディカル研究所が許可した場合はこの限りではありません。

SOD様作用食品体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-15-2 B棟 2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されません。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は生前、土佐丹羽クリニックの院長として日々、医療の現場で、がん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたられていました。また、SODなどを始めとする論文は高い評価を得て、日本のみならず海外の学会で講演したり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送られました。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

◆現在、丹羽療法の診察は皮膚科のみとなります。ご希望の方はご予約いたします。（※自由診療）
※診療日等に関しましては、状況により変更、休診となることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所 ☎ 0120(731)175